

次世代人文社会学育成プログラム
平成 22 年度 冬学期 個人派遣
募集のお知らせ《学部生・大学院生》

応募資格：現在、文学部、人文社会系研究科に在学し、原則として平成 23 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに出発可能な学生。ただし、在学年限を超えての派遣は行わない。また、学部生と修士課程の学生は、卒業・修了に関わる学事日程と派遣期間を重ねることはできない。その他、年齢に関しては、平成 23 年 3 月 31 日までに出発可能な者については平成 22 年 4 月 1 日現在 42 歳未満の者、平成 23 年 4 月 1 日以降に出発可能な者については平成 23 年 4 月 1 日現在 42 歳未満の者に限る。

※ 博士課程に在学中の者で、応募の時点で 3 年以上在学し所定の 20 単位を取得していれば、同時に募集している《PD・助教》に応募することが可能です。ただし、採用されたら派遣時点で退学（単位取得満期退学）していただき、派遣期間中は人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター萌芽部門次世代人文社会学育成プログラムの客員研究員（無給）として派遣先で研究することになります（《PD・助教》の募集要項を参照のこと）。なお、出発時期と授業料との関係があるので、PDで応募する場合は大学院係に必ず相談してください。

募集人数、期間

学部生：若干名 約 3 週間

研究言語の研鑽や専門分野の基礎知識・方法の習得を目的とした短期の派遣を原則とする。

大学院生：若干名 2～3 か月間

本プログラムによる海外研修・調査が修士論文あるいは博士論文の作成に資することが明確に書かれた研究計画を優先する。

派遣内容：海外の研究機関（1 国のみ）に滞在し、研究を行う。海外派遣のための渡航費（エコノミークラス航空券相当額）および滞在費（支給額は研究計画書等を考慮して本派遣プログラムで算定する）を支給する

補足説明（プログラム・ホームページの概要・募集要項も必ず参照してください）

- ・宿泊先や航空券の手配は、原則として各自で行ってまいります
- ・学費・研修費は支給されません。学費免除のある交流協定校を積極的に活用してください
- ・他の研究資金（私費を含む）と併用してもかまいません
- ・プログラムは International SOS 社の医療アシスタンス・サービスと契約していますが、各自、派遣に際しては必ず海外旅行保険に加入しておいてください
- ・本派遣プログラムは単位認定の対象にはなりません
- ・派遣期間が授業期間と重なる場合、学生自身が採用後に授業担当教員と派遣期間中の受講や

単位認定の可能性について相談してください

・派遣前後の義務

(1) 「コロキウム博約文社」や新規派遣生のための説明会への参加

採用者は、平成22年12月18日（土）に開催される第二回博約文社において、派遣先での研究計画を発表してもらいます。第一回博約文社の概要についてはホームページを参照してください

(2) プログラム専用ホームページへの研究成果の報告

提出書類

学部生：応募フォーム、研究計画書

研究計画書の書式は問わないが、以下の項目を含めること

- (1) 研究課題名
- (2) 派遣を希望する研究機関名、研修スケジュール
- (3) 研鑽を積みたい研究言語や基礎知識・方法

大学院生：応募フォーム、履歴書、研究計画書、業績表

研究計画書の書式は問わないが、以下の項目を含めること

- (1) 研究課題名（日本語および現地公用語）
- (2) 派遣を希望する研究機関名、研修スケジュール
- (3) 学位論文のテーマ、構成案
- (4) 派遣を通じて達成したい課題（特に、学位論文との関係）

応募にあたっての推薦

研究室教員（学部生の場合）、あるいは指導教員（大学院生の場合）からの推薦を必要とします。応募者は研究計画書を推薦を依頼する教員に提出してください。教員は、研究計画書を確認の上で、推薦者となることを承諾するメールをプログラム事務局宛に送ってください（推薦状は必要ありません）

提出期限：電子ファイルにより、11月1日（月）午前11:00

選考結果は11月中旬に、大学院係より連絡します

提出・問合せ先：次世代人文社会学育成プログラム事務局（大学院係内）

hakuyaku@l.u-tokyo.ac.jp

募集説明会：10月14日（木）17:00~18:30 会場：教員談話室（法文2号館2階）